



石巻市博物館 第11回企画展

近代を生きた東北ゆかりの画家たち

—宮城県美術館コレクションより—

本企画展では

生活、社会、思想そして芸術：

さまざまな価値観が目まぐるしく変化した近代日本に生まれ育ち、美術界に多大な足跡を残した東北にゆかりを持つ画家たちの生涯をとりまします。現在、リニューアル工事のため休館中の宮城県美術館の協力のもと、明治・大正・昭和の時代を生きた東北六県とつながりのある画家たちの作品を展示します。

主な出品画家たち

第一章 画家たちの近代

渋谷栄太郎 杉村悌 太齋春天 樺貞雄
狭間二郎 布施信太郎 宮城四郎 ほか

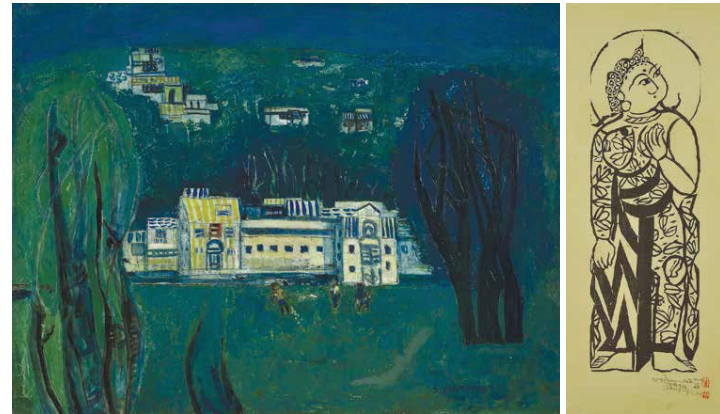
第二章 日本画と版画の近代

太田聰雨 勝平得之 斎藤清 荏司福
関野準一郎 平福目穂 棟方志功 ほか

第三章 東北のアバンギャルドな画家たち

安孫子真人 阿部金剛 宮城輝夫 ほか
第四章 労働と休息とロレタリア

大沼かねよ 金子吉彌 芳賀似 ほか



松本説介「郊外」1937 年作

棟方志功「普賢菩薩の柵」1939 年作



吉井忠「女」1940 年作

企画展関連 イベント情報

●講演会「近代東北の画家たちから」

とき 6月7日(土)
午後1時30分～3時

ところ マルホンまきあーとテラス

大研修室

講師 宮城県美術館 副館長 濱崎礼二

定員 90人程度(先着)

●企画展ギャラリートーク

とき 7月6日(日)
午後1時～2時

講師 博物館学芸員 伊藤匠

※観覧料を事前に支払い、企画展示室入り口に集まってください。



高橋由一「松島図」1881 年作



菅野廉「亜炭坑の人々」1947 年作



40人49作品を展示

宮城県美術館が所蔵する作品から、油彩画・日本画・版画など多様な分野を開拓し、また、前衛・ロレタリアといった新しく多彩な表現で世に問いかけた画家とその作品たちを紹介します。

経済的な困難や社会的な抑圧により、自由な芸術活動が難しかった時代の中で、画家たちは新しい芸術観と向き合い、仲間たちと議論を重ね、独自の美術表現を追求しました。

今から百年ほど前の時代を懸命に生きた画家たちの生涯に、少しでも関心を持っていただければ幸いです。



石巻市博物館 第11回企画展 近代を生きた東北ゆかりの画家たち —宮城県美術館コレクションより— 特別協力 宮城県美術館

とき 7月13日(日)まで ところ 企画展示室 料金 一般 600円 高校生 300円 小中学生 200円 ※20人以上の団体は2割引

近代を生きた東北ゆかりの画家たち公式ガイドブックも販売中！(料金 500 円)

施設情報



〒986-0032 開成1番地8

マルホンまきあーとテラス内

☎98-4831

開館時間 午前9時～午後5時

(最終入館 午後4時30分)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

観覧料 常設展 一般 300 円 高校生 200 円

小中学生 100 円

※20人以上の団体は2割引

※企画展チケットで常設展も観覧可

アクセス

公共交通 (JR 石巻駅から)

バス 宮城交通バス石巻駅1番乗り場

石巻専修大学線乗車

総合運動公園(石巻)下車 徒歩約2分

車 三陸自動車道 石巻女川ICより約5分